

別紙仕様書

1 件名

データ移行用 NAS 導入及び院内 LAN 機器用 UPS・リモートアクセスサーバ更新

2 目的

RDS サーバの更新に伴い RDS サーバ上に保存していたファイルを移行して保存するための NAS を導入する。また、院内 LAN 機器で導入している UPS・リモートアクセスサーバのサポート期限が近付いているため、機器の更新、OS・ソフトウェアのバージョンアップを実施する。

3 委託業務内容

茨城県立中央病院で使用するデータ移行用 NAS の導入、UPS の更新、リモートアクセスサーバの OS・ソフトウェアのバージョンアップとそれらに伴う設定・調整・データ移行・試験とする。

4 導入作業要件

- (1) 契約締結後、速やかにシステムの設計、導入に係る作業を開始すること。体制と稼働までのスケジュールを書面により提出し、当院の承認を得ること。構築中及び運用中に変更が生じた場合も同様とする。
- (2) 構築前に十分な既存環境の調査・分析を行い、機能や設定に漏れがないようにすること。
- (3) 既存システム等に設定変更を生じさせないよう配慮した設計とすること。なお、既存システム等に設定変更が必要となる場合は、システムの稼働に障害を発生させないこと。万が一障害を発生させた場合は、受託者の負担により業務に支障を生じないよう既存機器の保守ベンダーと必要に応じて協議し、回復を図ること。
- (4) 機能導入により、既存システムの設定等に制限を加えることがないこと。なお、設定変更が必要となる場合は、受託者の負担により実施すること。

5 システム要件

(1) データ移行用 NAS

ア 数量：2

イ ハードウェア要件

項目	要件
CPU	Annapurna Labs Alpine AL524 相当以上

メモリ	8GB 以上
ストレージ	8TB×4 (RAID5 の場合実効容量 24TB) 以上
ネットワーク	10/100/1000BASE-T インターフェースを 2 ポート以上

ウ ソフトウェア要件

項目	要件
OS	Linux ベース独自相当
プロトコル	SMB、NFS
バックアップ	メイン機からバックアップ機に対してデータのバックアップ設定を実施すること。

エ 設定要件等

- (ア) RDS サーバ上に保存していたファイルを移行してユーザが利用できるよう設定すること。
- (イ) 2 台のサーバのうち 1 台をメイン機、もう 1 台をバックアップ機として設定すること。
- (ウ) メーカー提供の最新セキュリティパッチを適用すること。
- (エ) 不要なサービスは稼働させないこと。

(2) UPS

ア 数量：1

イ 機器仕様

項目	要件
筐体	2 U 以内のラックマウント型であること。
ネットワーク	10/100/1000 BASE-T インターフェースを 1 ポート以上備えていること。 (オプション品でも可)

ウ 設定要件等

- (ア) 電源障害時の停電、瞬電、電圧変動対策として、サーバおよび L2 スイッチに対し、UPS を設置すること。
- (イ) UPS は、電源供給がなくなってから 10 分後に、サーバを正常に停止するための処理を開始し、正常停止が完了するまで電力の供給が可能であること。
- (ウ) 管理者による遠隔からのネットワーク経由によるハードウェア資源の操作・状態確認等の障害の識別を行える機能を有すること。

(3) リモートアクセスサーバ

ア 数量：1

イ 仮想マシン要件

項目	要件
CPU	2 コア

メモリ	8GB
ストレージ	50GB
ネットワーク	10/100/1000Mbps 仮想インターフェースを 2 ポート

ウ ソフトウェア要件

項目	要件
ゲスト OS	Red Hat Enterprise Linux 9.x 相当
リモートアクセス用 認証サーバ	・既存のリモートアクセスサーバから既存のライセンスを利用し、システムを移行すること。 ・既存のソフトウェアからデータ移行及び必要なバージョンアップ作業を実施し、リモートアクセスサーバとして稼働させること。
アンチウイルス	・既存のリモートアクセスサーバから既存のライセンスを利用し、システムを移行すること。 ・現行システムの設定をもとに、ウイルススキャン及びウイルス定義ファイルの設定等を適切に実施すること。
バックアップ	・既存のリモートアクセスサーバから既存のライセンスを利用し、システムを移行すること。 ・現行システムの設定をもとに、適切なバックアップ設定を実施すること。

エ 設定要件等

- (ア) 茨城県立中央病院に設置されている仮想基盤サーバ上に構築すること。
- (イ) 外部からリモートアクセスサーバの認証を経由し、グループウェアにアクセスが可能であること。
- (ウ) メーカー提供の最新セキュリティパッチを適用すること。
- (エ) 不要なサービスは稼働させないこと。

6 情報セキュリティ対策

- (1) 当院情報セキュリティポリシーを遵守すること。
- (2) 業務従事者について、以下を遵守すること。
 - ア 契約締結後、業務に従事するものを選定し、事業者名・氏名等を届け出ること。
 - イ 業務従事者を変更しようとする場合は、事前に通知するものとする。
 - ウ 業務従事者が業務に従事する場合は、記名票を着用し、身分証を携行すること。
 - エ 業務従事者は、個人情報保護法及び関連法令等を遵守しなければならない。

7 その他

- (1) 本件で構築する仮想マシンは、現在稼働している物理サーバ上のサーバ仮想化ソフト

ウェアを利用して作成する。受託者は提供された仮想マシンへの OS インストールから実施すること。必要な情報及び作業環境は当院担当職員より提供する。

- (2) 使用するライセンス、保守、技術サポート等は次年度以降も更新可能なものであること。
- (3) ライセンスの登録・更新等で必要になる手続きは全て受託者にて代行すること。

8 納品ドキュメント

- (1) 実施計画書
- (2) 設計書
- (3) テスト仕様書
- (4) テスト結果報告書
- (5) 運用マニュアル ※変更のある場合
- (6) 業務完了報告書